



（“えらべるデイサービス”を） モデル導入

京都府保健福祉部高齢・保険・総括室介護保険推進室は18年3月、「介護予防サービスに係る参加・継続推進事業に関する調査報告書—新たなデイサービスのあり方を求めて—」と題する報告書を取りまとめた。

同報告書は、集团的処遇・画一的なサービス提供が行われてきた従来のデイサービスのあり方の変革を目的に、介護予防を視野に入れた新たなかたちでのモデル事業を実施した結果をまとめた。具体的には、①デイサービスを2～8人程度にグループ化し、多様なメニュー（ゲーム機、物品作成等）を提供すること、②元気高齢者がボランティアとして参加・支援する内容となっている。府内3施設で実施したところ、利用者の自主性や活動意欲の向上、ボランティアにとっては生きがいづくり、職員の個別ケアの能力の向上などの効果がみられたとしている。府では、「京都式えらべるデイサービス」として普及を図りたいとしている。